

まつやま支部だより



ミランクラブジャパン松山支部
支部長 奥川 睦

ナマステ！

明けましておめでとうございます。

今年は平成が 30 年の節目で終わり、ミランクラブジャパンも祝 30 周年。私がチベット越えてネパールへ。あれからもう 30 年近くが過ぎたのかと感慨ひとしおです。

ここ四国は、八十八か所札所巡りの霊場の地です。遍路・法衣人（ほいと）、乞食（こつじき）、などの漢字を当てると、宗教的色彩をおび、お布施の精神がにじみまします。自分では今お参りできないのを、替わりにして下さって、有難うの感謝をこめてもらっていただくのです。そう考えると自分の貧乏をおいて気前よくはボランティアの精神とも重なっていく気がします。

愛媛は今も留学生が多くネパールとの縁の深い所があります。数年前、大学の医学祭で地元 TV 局のアーカイブで、岩村博士が山岳地帯を診察して回る姿を初めて知りました。岩村医師が愛媛県の八幡浜の出身で、その名を聞くことは多かったので先人の足跡を見たことで、いつの間にか見えぬ絆がいろいろとつながっているかもしれない...という気持ちになりました。これからも様々な良い出会いが生まれますよう、《ミラン》にカンパイ！！

【 表紙の言葉 】

2018 年 11 月 18 日 JICA 市ヶ谷ビルで行われたミランクラブジャパン創立 30 周年記念イベントで「ミランクラブに関わってからの私の人生」と題して講演する元里子のスミトラ・アディカリさん。

一生懸命に話すスミトラさんに 10 代の少女だった頃の姿が重なって、私たちの活動の足跡を見る思いが広がり感無量でした。

寄付金をありがとうございました

☆ 東京都 二瓶 幸子さん ライ 美紀さん

田中 薫子さん (30 周年記念)

☆ 千葉県 ニリマル マナンダールさん (就学支援)

☆ 神奈川県 吉田 陽子さん (就学支援)